

「八剣の辻」
(三谷町七舗)

古代の三谷は山側の天白神社と硯川沿いに集落が形成されていたようですが、中世初期から始まった海退現象により海側が陸地化し、これを熱田神宮の荘園として開発。その要として八剣神社が建てられ、以後中心地になりました。



昭和初期のころの八剣神社前

三谷はなだらかな斜面に立地した町でしたが、明治以降近年までに数次にわたって海の埋立造成をはかり、広大な平地を確保し港を整備しました。これにより、これまでの海運・醸造業・漁業の町に、織物・遠洋漁業が加わり一層発展しました。さらに戦後は三谷温泉が開発されています。

この辻はかつて海の中でしたが、今はマリノロードとして市民会館から三谷温泉・ラグーナ蒲郡を結んでいます。1696年に始まった「三谷まつり」では神船と4台の山車が勢ぞろいする祭りの中心地です。元々は大小の道が交差する複雑な交差点でしたが、マリノロードができて大きな三差路になりました。描く方向を迷いましたが、鋭角の敷地に合わせた建物の形が面白く、これを中央にして描きました。

目次 Contents

当初予算が決まりました	3-4
後期高齢者医療制度についてお知らせします	5
国民健康保険税が変わります	6-7
新しい健診・保健指導がはじまります	8-9
子どもの夢をはぐくむ学校教育 - 蒲郡市学校教育ビジョン -	10-13
ブックスタート	14-15
MYスクール・図書館だより	16
まちの達人・読む水族館	17
遊びにおいでよ児童館へ	18
健康カレンダー	19
いちおし逸品	20-21
無料相談	22
お知らせ	23-35
クイズまちがいさがし・編集後記	36
ふれあい宅配便	37
第8回森の文化祭	38
子どもミュージアム	38



樹木医・技術士(建設部門) 原野 幹 義

「透けるパステルカラーの誘惑・ミツバツツジ」

透明感のある淡いピンクの花を枯れ枝いっぱいに着けるミツバツツジは、遠目にもひととき目立ち、春の貴婦人といった風情が漂います。落葉性のツツジで葉が遅れて開くため、春の陽光が花一面にまわり込み艶やかさを引き立てています。落葉性のツツジの仲間は常緑のツツジに比べ半月からひと月ちかく早く咲き、周りはまだ花が少なく、鮮やかな印象を受けます。近在では音羽のコバノミツバツツジが有名で、にぎわっています。



花の写真を撮る時はちょっと早起きして朝日を待ちます。横からの光で花びらが微妙に透けたりして、陰影が生まれ、透明感があるのに深みが出るからです。女性のお肌のお手入れのようですね。

会社に入って、柔らかなパステルカラーのイラストマーカ (マジック) との出会いは新鮮な驚きでした。百種以上の透明感がある色があり、一つひとつにおしゃれな名前が付いていました。フォレストグリーン、アクア、パウダーピンク、バターカップイエローなど、今でもその響きに胸が高鳴ります。ミツバツツジの色は「シヨクピンク」といったところでしょうか。

銀座の伊東屋で72色の色鉛筆を買った帰り道、ちょっと興奮して石畳を歩いていました。社会人になって最初に買ったデザインの道具でした。